

長野市災害ボランティアに行ってきました

12月22日（日）に生徒19名、教員1名で長野市にボランティアに行ってきました。災害発生から2か月以上たった今でも、まだまだボランティアの力を必要としているところが多いのが現状です。今回は、「NPO 災害ボランティア愛・知・人」にお世話になり、リンゴ農家のお手伝いとしてリンゴ拾いをしてきました。来年、再来年、それ以降もリンゴを栽培、収穫できるように農地をきれいにしてきました。



矢印の高さ（3m）まで水が来ました



集合場所の津野サテライト

作業内容としては、ひたすらリンゴを拾い、トラックに積み込む。これだけですが、これがとても大変でした。一面りんご。拾って拾ってもリンゴが見える状態でした。かごには20個ほどのリンゴが入ると思います。そのかごが50個ほどで軽トラックがいっぱいになります。それが10往復以上。2tトラックも使いました。2tトラックは軽トラ3倍ぐらいでしょうか？単純計算すると3～4万個以上のリンゴを拾ったことになります。





作業場所は、千曲川決壊場所のすぐ近く。お昼休みに散歩して決壊場所を見てきました。決壊場所はブルーシートがかけられていました。すぐ近くの体育館は壊滅状態。まだこのような状態でした。2011年の東日本大震災を思い出し、改めて水の怖さ、自然災害の怖さを感じました。





午後2時半にすべてのリンゴを拾い終えることができました。農家の方は「今日で終わると思っていなかった。」とおっしゃっていました。生徒の顔も「やり切った!」という表情をしていました。愛・知・人の方にお世話になり、災害の事やボランティアの事、その他いろいろな話を聞きながら作業ができ、とても貴重な体験ができたと思います。学校に帰ってきてからの振り返りでは、「報道されていない大変なことがわかった。」「もう終わっているものと思っていた。」「機会があれば、またぜひ行きたい。」ということを書いてくれました。



終礼の様子。いろいろな話をしていただき、とても勉強になりました。



作業メンバー全員で集合写真